

## 事業者向け 放課後等デイサービス 自己評価結果表

事業所名 (特非)発達支援ネットワークつむぎ つむぎ落合

		チェック項目	はい	どちらでもない	いいえ	工夫している点 改善目標	それを踏まえた対応
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	1			
	2	職員の配置数は適切である	2	3			・職員の体制は、関係法令に定められている基準を満たしたものとなっています。ご利用様が安心して過ごせる環境を常に考え、整え、職員と安心してやりとりできる状況を作っていきたいと思います。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5				
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	5				
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5				
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	1			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	2	1		

適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5			<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的に行っている。リモート等工夫をして時間を確保している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2か月に1回法人内スタッフ研修があります。各職員発表の機会も持てるようにしています。</li> <li>療育スキルアップ制度の仕組みを活用し、専門機関の先生に巡回支援をいただいています。</li> </ul>	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5					
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	1				
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	2	3		<ul style="list-style-type: none"> <li>現在は、管理者を中心に立案している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後は、チームの中の意見も取り入れながらより良いプログラム作りをしていきたいです。</li> </ul>	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>現在は、放課後の限られた時間の中で、活動の枠組みは、固定化されている部分も多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動や課題内容を充実させる中で、限られた時間の中でも子どもたちがたくさん達成感を感じられるように支援をしていきたいです。</li> </ul>	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>長期休みのプログラムも明確に枠組みが構成でき始めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>長期休みの活動の環境設定を工夫し始めたことにより、見通しを持って過ごせるお子様が増えています。安心した見通しを持てる環境改善を常に継続していきます。</li> </ul>	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	3	2				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>必要に応じて実施をしている状況です。療育運営中の役割を示す基盤も整えている最中です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>連絡会を毎日実施しています。</li> <li>職員それぞれが役割意識を持って取り組める仕組み作りを整えていきます。</li> </ul>	

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	1	4		・当日ではなく、翌日や回覧板で確認している。	・即座に対応が必要なことについては、なるべくその場で報告、対応をするようにしています。情報共有システムを活用し、回覧を行うようにしています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5				
	18	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4	1			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っている	2	3			
関係機関や保護者	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5				
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	5				
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	2	1		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4				
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5				

との連携	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	2		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		3	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そういった時間を確保できていないので、今後工夫する必要もある。</li> <li>・地域の団体や行事等の情報を取り入れながら交流する機会の企画や提案を実施していきたいと思います。</li> </ul>
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	4		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5			
保護者への	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	4	1		
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3	2		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	1		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	3		
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5			

説明責任等	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	1		・毎週通信、フェイスブックを発信している。	・事業所の取り組み等を積極的に発信し、皆様にかかれた事業所となれるように今後も工夫していきたいと思います。
	35	個人情報に十分注意している	5				
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4	1			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域にかかれた事業運営を図っている	1	2	2		
非常時の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5			・事業所の見えるところに掲示している。 ・マニュアルを見やすい場所に掲示している。	・今年度より、法人内で委員会を設置しています。マニュアルの周知、必要に応じて変更をしていき、職員も安心し見通しを持って行動できるようにしていきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	1			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5				
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4	1			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	1		・保護者の方と情報共有している。	・アレルギーに関しては、保護者様と情報共有し、リストを作成しています。職員も確認できるよう環境を整えています。

	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5				
--	----	---------------------------	---	--	--	--	--

(特非) 発達支援ネットワークつむぎH30. 9.1～











|